山城南圏域医療介護連携拠点事業概要

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

＋各種ワーキンググループ＋

医療介護連携

住民啓発

研修講演会

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護提供体制の構築推進

多職種連携ネットワーク
『きづがわねっと』

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

多職種連携シートなど共有ツール

ICTの活用

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（カ）医療・介護関係者の研修

多職種連携講演会

認知症を学ぶ会

（キ）地域住民への普及啓発

看取りフォーラム

カフェ事業

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

発　行　2019年3月1日

編　著　在宅医療委員会　多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」事務局

発　行　一般社団法人相楽医師会　在宅医療委員会
〒619-0233
京都府相楽郡精華町乾谷金堀3-2JA京都やましろ山田荘事業所2F
TEL:0774-73-8222　FAX:0774-73-3919
http://www.souraku.kyoto.med.or.jp/

一般社団法人相楽医師会　市区町村医療介護連携拠点事業

山城南地域の在宅医療・介護サービス充実にむけた多職種連携

多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」
山城南地域包括ケアネットワーク

ごあいさつ

相楽医師会では在宅医療の課題について検討し、在宅療養において医療と介護の連携推進が最重要であるとの認識で活動してきました。平成23年度から当地域の行政機関・警察・消防・病院との連携・支援を基盤（プラットホーム）として、医療・介護関係の多職種（各職能団体、当事者組織など）の代表が一同に会し、相互に顔の見える関係の場として『きづがわねっと』を立ち上げ、定期的に会合を開催しながら住民の在宅療養に資するための活動を展開しています。また、平成27年度には基盤となる行政機関や病院と定期的に協議する場として『山城南地域包括ケアネットワーク』を立ち上げました。

当地域は医療・介護・福祉資源の人的・経済的な地域差が大きく、環境的にもサービス提供資源が他府県と密接に関連していて、医療・介護の連携とサービスの提供に多くの課題があります。

当地域を統括した地域住民を支援する医療・介護の多職種の連携拠点を相楽医師会に設置し、『きづがわねっと』を発展的に運用して、医療・介護連携プロジェクトの企画、専門職からの在宅療養に関する相談・支援、情報の伝達と共有、地域住民への啓発などの活動を行政機関や多職種と協働して実施していきます。

一般社団法人相楽医師会　池田　文武

看取り事業

看取りフォーラム

看取りフローチャート

ACP
（アドバンス
ケア
プランニング）

★地域住民向けの
周知・啓発に関すること

カフェ事業

多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」

参画団体；相楽医師会/山城歯科医師会/相楽薬剤師会
認知症の人と家族の会/京都府介護福祉士会
京都府老人福祉施設協議会/相楽栄養士研究会
京都府介護支援専門員会相楽ブロック
山城南圏域地域リハビリテーション支援センター
相楽訪問看護師会/相楽郡地域包括支援センター他

医療介護連携支援相談センター

認知症を学ぶ会

★多職種連携の
研修に関すること

多職種連携講演会

山城南地域包括ケアネットワーク

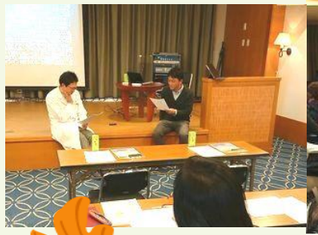
行政機関：山城南保健所
木津川市/精華町/和束町/笠置町/南山城村
総合病院：京都山城総合医療センター/学研都市病院
精華町国民健康保険病院

★医療介護連携ワーキンググループ　★住民啓発ワーキンググループ
★研修講演会ワーキンググループ

http://yamashirominami.net/

山城南つながるねっと　検索

山城南つながるねっと



医療と介護の連携事業